

平成22年度美馬市予算の概要

はじめに	……	1
予算規模	……	2
一般会計予算の概要	……	2
・主な歳入	……	2～3
・主な歳出（目的別）	……	3～4
・主な歳出（性質別）	……	5～6
一般会計予算総括表	……	7～9
特別会計・企業会計予算総括表	……	10
5つの重点目標に向けた取り組み（主な事業）	……	11～17
その他の新規・拡充事業	……	18
主な投資的事業	……	19～20
雇用対策と追加経済対策	……	21～22
平成27年度以降の美馬市財政運営指針	……	23

平成22年3月

美 馬 市

はじめに

このたび、平成22年度予算が成立しました。

経済環境の急激な変化や少子高齢化の進展などにより、市民生活にも様々な影響が及んでいます。こうしたなか、乳幼児等医療費助成の対象を小学校修了時まで拡大する「みまっこ医療制度」の創設や特定健診の無料化を図ると同時に、国の補正予算を最大限活用し、累次の経済対策にいち早く取り組んできました。その結果、懸案でありました小中学校の耐震化に目処がついたほか、太陽光発電の設置や学校ICT化の推進、中学校武道場の整備などの美馬市版『スクールニューディール』事業に引き続き取り組むこととしています。

そこで、平成22年度においては次の5つの重点目標を掲げ、目標に向かって着実に取り組むと同時に、合併特例期間（平成17～26年度）の中間折り返し点であることから、平成27年度以降を見据えた「取り組み初年度」（※）としたいと考えております。

= 5つの重点目標 =

- 高齢化社会に対応する取り組み
- 情報通信技術の更なる活用
 - 地域と一体となった教育環境の整備
 - 環境にやさしい社会づくりの推進
 - 地域の観光振興と国際交流の推進

※ 「平成27年度以降の美馬市財政運営指針」（P23）を策定しています。

1. 予算規模

	平成22年度当初	平成21年度当初	増 減
一般会計	167億4,000万円	154億2,600万円	13億1,400万円
特別会計	91億2,739万6千円	87億6,149万8千円	3億6,589万8千円
公営企業会計	9億746万7千円	8億2,076万5千円	8,670万2千円

平成22年度の一般会計予算規模は、167億4,000万円で、前年度と比較して、13億1,400万円、率にして8.5%の増となっております。

これは、前年度予算が市長選挙を控えた骨格予算であったため、平成22年度は年間所要額を計上しています。また、特別会計では、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、公共下水道事業特別会計が増となっており、特に介護保険特別会計(保険事業勘定)は3億8,898万3千円、率にして12.5%の増で、高齢化社会の進展が介護サービス給付費の伸びに反映された形となっております。

2. 一般会計予算の概要

(1) 主な歳入

1. **市税**は、平成21年度実績見込み額等を勘案し、前年度当初比2.5%減の26億6,165万2千円を計上しております。
2. **地方譲与税**は、前年度当初比2.6%減の2億2,500万円を計上しております。
3. **地方交付税**は、国の地方財政対策による普通交付税の増が見込まれますが、本市の当初予算としては、前年度とほぼ同額の74億6,000万円を計上しております。
4. **分担金及び負担金**は、県単急傾斜地崩壊対策事業にかかる受益者負担金などの増により、前年度当初比7.8%増の5,037万円を計上しております。
5. **使用料及び手数料**は、保育所使用料の減などにより、前年度当初比5.8%減の2億7,769万3千円を計上しております。
6. **国庫支出金**は、17億9,382万7千円で前年度当初比35.7%の大幅増となっております。

これは平成22年度から始まる子ども手当に係る国庫負担金や生活保護費負

担金の増、前年度骨格予算のため当初計上しなかった社会資本整備総合交付金（旧地域活力基盤創造交付金）などの増によるものです。

7. **県支出金**は、前年度当初比17.5%増の12億1,812万9千円となっております。
これは、ふるさと雇用再生特別基金事業・緊急雇用創出事業、地籍調査事業、乳幼児等はぐくみ医療助成事業、地域グリーンニューディール基金事業および森林・林業関係事業など各事業補助金の増が主な要因です。
8. **財産収入**は、市有林の立木売払収入の増を見込み、前年度当初比28.8%増の1,715万7千円を計上しております。
9. **寄附金**は、ふるさと納税制度に伴う「まほろばサポーター」からの寄附金など、前年度と同額の100万1千円を計上しております。
10. **繰入金**は、当初予算編成時における財源不足等を補てんするため、
 - ・ 財政調整基金を 1億7,000万円（前年度同額）
 - ・ 減債基金を 1億円（前年度同額）
 - ・ 特定目的基金を 2億4,109万5千円（前年度1億9,151万5千円）を計上しております。
このうち、特定目的基金には3月補正予算で新たに造成した、「オラレまちづくり基金」からの繰入金650万円を計上しています。
11. **諸収入**は、前年度当初比33.7%増の1億7,163万3千円となっております。
これは、オラレ運営協力費（建物・用地分および売上分）の4,112万円の増が主な要因です。
12. **市債**は、前年度当初比43.8%増の18億1,460万円となっております。
これは前年度当初が骨格予算であったため新規の普通建設事業を計上しなかったことと、臨時財政対策債の増によるものです。

(2) 主な歳出（目的別）

1. **議会費**は、前年度当初比10.3%減の1億6,211万7千円となっております。
これは議会議員定数の減によるものです。
2. **総務費**は、前年度当初比15.6%増の19億3,716万9千円となっております。
主に自主放送番組作成費、電算システム機器等購入費、県知事・県議会議員選挙費および国勢調査費などの増によるものです。
3. **民生費**は、前年度当初比10.6%増の52億4,634万7千円となっております。

主に、介護保険・後期高齢者医療両特別会計への繰出金、生活保護費、みまこ医療助成費および子ども手当などの増によるものです。

4. **衛生費**は、前年度当初比1.6%増の16億4,161万円となっています。
これは、循環型社会形成推進事業に伴う美馬環境整備組合への負担金の増によるものです。
5. **労働費**は、前年度とほぼ同額の401万3千円となっています。
市シルバー人材センター運営補助金が主な予算となっております。
6. **農林水産業費**は、前年度が骨格予算であったため地籍調査費や森林・林業関係各事業の増により、前年度当初比6.7%増の12億5,309万8千円となっています。
7. **商工費**は、前年度当初比11.9%増の2億3,353万5千円となっています。
主に、プレミアム商品券発行事業、消費生活センター運営事業、ふるさと雇用再生特別基金事業・緊急雇用創出事業を活用した観光イベント経費などの増によるものです。
8. **土木費**は、前年度が骨格予算であったため社会資本整備総合交付金を活用した各事業（活力創出基盤整備、市街地整備および地域住宅支援）や市単独道路整備事業などで11億1,303万4千円（前年度当初比20.3%増）を計上しています。
9. **消防費**は、飲料水兼用耐震性貯水槽の整備などで、前年度当初比11.3%増の7億3,775万6千円となっております。
10. **教育費**は、穴吹小学校耐震補強事業が終了したため、前年度当初比7.5%減の13億8,702万7千円となっています。
11. **災害復旧費**は、災害発生時に機動的に対応するための枠予算として、前年度から500万円増の4,000万円を計上しております。
12. **公債費**は、高利率で借り入れていた市債の繰上償還を行ったことなどにより前年度当初比5.6%減の25億3,799万4千円となっています。
13. **諸支出金**は、オラレまちづくり基金への積立金や、前年度骨格予算のため当初予算に計上しなかった地域振興基金（合併特例債を活用した基金）への積立金を計上したことなどから前年度から4億3,299万2千円増の4億4,130万円を計上しています。

(3) 主な歳出（性質別）

1. **人件費、扶助費、公債費**を合わせた義務的経費は、90億718万円で、前年度当初比3.5%の増となっています。

人件費、公債費の減額に対し、子ども手当や生活保護費などの扶助費が大幅に増額となったことが主な要因です。

2. **物件費**は、前年度当初比27.7%増の18億6,496万9千円となっています。

これは、自主放送番組作成費や電算システム機器等購入、ふるさと雇用再生特別基金事業・緊急雇用創出事業に伴う臨時職員雇用や委託料などの増によるものです。

3. **維持補修費**は、市道維持事業費の年間所要額を計上したため、前年度当初比70.6%増の1億2,544万2千円となっています。

4. **補助費等**は、前年度当初比3.0%増の25億3,709万3千円となっています。

主に、循環型社会形成推進事業に伴う美馬環境整備組合への負担金の増によるものです。

5. **積立金**は、基金利子の減額が見込まれますが、オラレまちづくり基金への積立金や、地域振興基金（合併特例債を活用した基金）への積立金を計上したことなどから前年度から4億3,314万4千円増の4億4,109万8千円を計上しています。

6. **繰出金**は、前年度当初比0.8%増の14億3,476万6千円となっています。

繰出金のうち特別会計・企業会計に対するものは次のとおりです。

(単位：千円)

会 計 名	平成22年度	平成21年度	減 額
住宅新築資金等貸付事業特別会計	0	8,325	△8,325
国民健康保険特別会計	279,218	290,895	△11,677
老人保健特別会計	250	2,583	△2,333
後期高齢者医療特別会計	133,008	117,326	15,682
介護保険特別会計	586,910	531,260	55,650
公共下水道事業特別会計	161,774	137,907	23,867
農業集落排水事業特別会計	89,033	100,587	△11,554
美馬温泉保養センター事業特別会計	35,954	36,721	△767
一の森ヒュッテ事業特別会計	254	724	△470
簡易水道事業特別会計	132,237	156,308	△24,071
水道事業会計	1,400	0	1,400
計	1,420,038	1,382,636	37,402

7. 投資的経費の中で、**普通建設事業の補助事業**は、穴吹小学校耐震補強事業の終了などにより、前年度当初比24.2%減の6億3,264万円となっています。

単独事業は、前年度当初比53.9%増の6億4,813万2千円となっていますが、これは、前年度骨格予算であったため道路新設改良費に年間所要額を計上したことなどによる増額です。

災害復旧費については、災害発生時に機動的に対応するための枠予算として、前年度から500万円増の4,000万円を計上しております。